

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
遺伝子染色体検査学実習	2年次	必修	実習	1単位（45時間）	山口 聖子	
授 業 概 要						
<p>遺伝子を扱う検査に必要な基本的知識と技術を習得するため、染色体検査では細胞培養、標本作製、分染法の技術と核型解析を学習する。遺伝子検査では、検体からの核酸抽出、PCRおよび核酸電気泳動の原理と技術を学習する。</p>						
到 達 目 標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞培養を行う際の注意点を説明できる。</li> <li>・染色体標本の作製法を説明できる。</li> <li>・分染法の種類と特徴を説明できる。</li> <li>・核型解析法を理解できる。</li> <li>・核酸抽出を行う際の注意点を説明できる。</li> <li>・フェノール・クロロホルム法の原理を説明できる。</li> <li>・核酸の定量法を理解できる</li> <li>・PCRの原理を説明できる。</li> <li>・核酸電気泳動の原理を説明できる。</li> </ul>						
実務経験のある教員						
実務経験のある教員						
回	学 習 内 容				担当教員	
1-4	染色体検査実習 末梢血リンパ球細胞培養				山口 聖子	
5-8	染色体標本の作製 分染法による染色体の同定					
9-12	核型分析					
13-16	遺伝子検査実習 核酸抽出 核酸定量					
17-20	PCR、制限酵素消化 アガロースゲル電気泳動 PCR結果の判定					
21-23	実習終了試験					
学 習 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書及び配付資料をもとに予習・復習することにより理解が深まる。</li> </ul>						
評 価 方 法						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート等（40%）及び実習試験等（60%）により評価する。</li> <li>・再試験はレポートの再評価を行わない。</li> </ul>						
先 修 科 目						
先 修 科 目						
教 科 書、参 考 書						
<p>[教科書] 最新臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学 第2版 東田 修二 他 医歯薬出版株式会社 配付資料</p>						